

「新しい知見で考える学校における 防災教育」

危機管理教育研究所
危機管理アドバイザー 国崎 信江
<http://www.kunizakinobue.com/>

防災教育

防災教育に 新しい科学の知見を取り入れる

1. 想定される地震
2. 地震動による被害
3. 振動実験から防災教育を検証する

長周期地震動における室内の挙動



危機管理教育研究所

高層階ほど室内の被害は大きくなる



危機管理教育研究所

防災の検証



危機管理教育研究所

防災の検証

(映像提供：谷沢製作所)



危機管理教育研究所

地震防災研究を踏まえた退避行動等に関する作業部会報告書

地震時に適切な退避行動を行うには、自分のいる場所の状況を適切に把握した上で、揺れの大きさ、個人の役割、直前の行動等や、地震時の揺れによるその場の物理的環境の変容と自分の生理的・心理的な変化を踏まえて、その場所がどの程度、安全または危険なのかを判断し、最も人的被害が軽減されると判断される行動をとることが望ましい。

なお、退避行動を検討するに当たっては、災害時要援護者に配慮することが必要であるとともに、ヘルメット等を地震時にすぐに活用できるよう事前に備えておくことが効果的である。

現在の小学校で広く用意されている防災頭巾については、戦時中の防空頭巾の名残りとして今もなお使用されているものと推定されるが、そもそも戦前の今村(「星と雲・地震と火山」(今村明恒著 昭和5年発行)の提言では火災の炎から身を守るために、座布団を水に浸して利用することを勧めているため、地震時の落下物から頭部を守る目的で提言を行ってはいないことに留意すべきである。

危機管理教育研究所

事前のそなえ(保護者に滞留品を揃えてもらう)

滞留時&帰宅支援の備え(児童と職員用)

災害用トイレ(人数分)水 食料 毛布 タオル ランタン
ウェットタオル ヘルメット マスク 手袋 レインコート など



社会の一員であることを意識する
学校が避難所になる
実践で役立つ防災教育とは

危機管理教育研究所

地域との連携 様々な視点で多様な防災教育の実施



危機管理教育研究所

地域との連携(地域の避難訓練に子どもの防災教育プログラム)



神奈川災害ボランティア ステーション鈴木幸一さん 考案

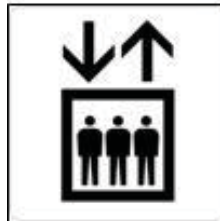
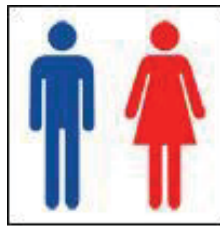
危機管理教育研究所

市町村との連携で子どもの力を社会の力に



危機管理教育研究所

避難所で必要なものを考えてみよう



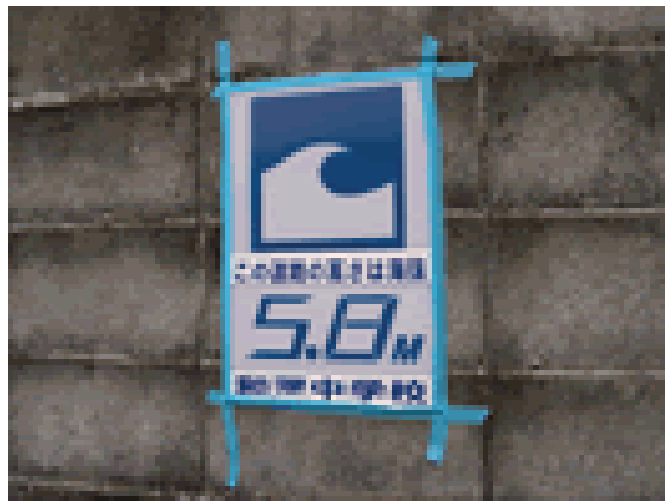
危機管理教育研究所

地域で必要なものを作成してみよう



← かまどベンチ

↓ 海拔表示プレート



危機管理教育研究所